

SHOWCASE™ ESSBASE® 7.1 インストールクイックスタート

サーバーの要件

- バージョン 4.5、6.2、6.5、または 6.51 からのアップグレードがサポートされています。他の要件：
- IBM® OS/400® V5R1、V5R2、または V5R3
 - 5722JV1 Java™ Developer Kit 1.3 および 1.4
 - 5722JV1 および 5722JIC1 Toolbox for Java
 - 5722SS1 OS/400 QShell
 - 500 MB のディスク スペースと 280 MB の一時スペース
 - 使用中の Essbase データベースのうち最大のものと同じサイズの追加ディスク スペース
 - iSeries 上で TCP/IP が設定され、動作している
 - システム値 QALWOBJRST を *ALL または *ALWPGMADP に設定する必要があります。この値は、DSPSYSVAL QALWOBJRST コマンドを使って参照することができます。
 - 1 台の iSeries に複数の ShowCase Essbase Analytic Server をインストールする場合、アクティブなサーバーごとに専用の IP アドレスとライセンス キーが必要です。
 - サーバー コンポーネントを実行するには、特定の iSeries PTF が必要になることがあります。最新のレベルの詳細は、*Readme* ファイルを参照してください。

クライアントの要件

ランタイムクライアントと Excel スプレッドシートアドイン

- Microsoft® Windows® XP、2003、または 2000 SP3
- Intel® Pentium® プロセッサ 133 MHz 以上と 64 MB の RAM、またはお使いの OS の最低要件を満たしていること

管理サービス (EAS) コンソール

- Microsoft Windows XP、2003、または 2000 SP3
- RAM: 33 MB のスタートアップメモリー、64 MB の作業メモリー、32 MB のアウトラインメモリー、メンバーごとに 500 バイトのメモリー
- ディスク スペース: 最小 90 MB
- JRE (Java Runtime Environment) 1.4.1

統合サービス (EIS)

- Microsoft Windows XP、2003、または 2000 SP3
- RAM: EIS (Essbase Integration Services Console、Essbase 統合サービス) コンソールに 64 MB 以上、Windows 版の Essbase スプレッドシートアドインに 16 MB。
- ディスク スペース: 全部で 46 MB、内訳は次のとおり。
EIS コンソールと共通ファイルに 20 MB、Java と jar ファイルに 22 MB、EIS PDF ドキュメントに 4 MB。

要件の完全な一覧は、『ShowCase Essbase Installation Guide』の第 3 章を参照してください。

サーバー ソフトウェアをインストールするには

作業を開始する前に、*ALLOBJ 権限を持つ EAS データベース初期化プロファイルを作成または選択します。EAS サーバーをインストールするには、DB2 iSeries への接続と EAS データベースの初期化を実行できる有効な OS/400 プロファイルが必要です。

1. iSeries の CD ドライブに CD を挿入します。
2. QSECOFR または同等の権限でログインします。

3. 「LODRUN *OPT」と入力して、Enter キーを押してください。
4. パス名の入力を要求するプロンプトが表示されたら、デフォルトをそのまま使用してください。
5. 以降、画面の指示にしたがって作業を行います。詳細は、『ShowCase Essbase Installation Guide』の第 5 章を参照してください。

注意： インストールに失敗する場合は、ジョブログを確認してください。コマンドラインから DSPJOBLOG と入力し、F10 キーを押してください。ページを上下にスクロールして、目的の情報を探してください。

PC ソフトウェアをインストールするには

インストールには、Analytic Services クライアント、EAS、および EIS が含まれ、Hyperion Essbase インストールプログラムが使用されます。クライアントのインストール時には、EAS サーバー、EIS サーバー、または ODBC ドライバはインストールしないでください。インストールを正しく行うために、『ShowCase Essbase Installation Guide』を参照してください。

CD からのインストール

- インストール時には、『ShowCase Essbase Installation Guide』の第 6 章に記載されている手順や説明にしたがって作業を行ってください。

ネットワーク インストール

- ユーザーが「ネットワーク」インストールを利用できるようにするには、CD の内容全体、または CD 上にある個別の <product>\Setup フォルダの内容を、ネットワーク フォルダにコピーします。その後、ユーザーはネットワーク上にある *setup.exe* ファイルを実行できます。

リリースの概要

サーバー インストール

このリリースには、次のサーバー コンポーネントが付属しています。

- Essbase Analytic Server
- EAS 管理サーバー (Essbase Administration Server、EAS)
- Essbase 統合サーバー (Essbase Integration Server、EIS) – 別途ライセンス

詳細は、『ShowCase Essbase Installation Guide』を参照してください。

ドキュメントについて

現在までに確認されている問題点や制限事項は、CD にある ShowCase Essbase 7.1 Readme (*essreadme.htm*)、または SPSS テクニカルサポート Web サイト <http://support.spss.com> を参照してください。

ShowCase Essbase のドキュメントは、CD または SPSS テクニカルサポート Web サイト <http://support.spss.com/> から参照できます。

Hyperion ドキュメントは、製品と一緒にインストールできます。

ShowCase のマニュアルに関するご質問やご提案は、以下のドキュメント作成チームまでご連絡ください。
+1.507.288.5922 または documentationroch@spss.com